

Caulophyllum thalictroides ブルーコーシュ, ルイヨウボタン [出産の諸症状, 難産]

Caulophyllum thalictroides Michx

BACK GROUND

Caulophyllum は、アメリカ原産のメギ科ルイヨウボタン属の多年草植物です。沼地や湿地帯、川の近くの湿った土地に自生し、4～6月に緑黄色の花が咲き、その後1, 2個の大きめの豆くらいの種が8月になります。その種は、焙煎したり、煮出してコーヒーに似た煎じ液をつくれます。



(K)

一般的には、Blue Cohoshと呼ばれています。Black Cohoshと呼ばれている Cimicifuga と似た作用をもっていますが、植物分類学的には違う分類になります。Cohoshとは、アルゴンキン語でデコボコを意味しており、この植物の塊根の形から来ています。

学名の Caulophyllum は、ギリシア語の kaulos 茎, phyllon 葉に由来し、種小名の thalictroides は、この植物の葉の形が Thalicttrum カラマツ草の葉に似ていることに由来します。同じ分類のメギ科のレメディには、Berberis や Podophyllum などがあります。

この植物の実実は、乾燥すると吐き気を催すような味がします。根茎は硬くて樹皮が厚く、不規則に捻じ曲がっていてところどころコブ状になっており、そこから数cmから20cmくらいの長さの細長い小根が伸びています。その根茎の形は、まるで、病気の子宮を象徴するかのような形をしています。外見の色は、黄色がかかった茶色で、内部はやや黄色味を帯びた白色をしています。根の味は、甘苦く、酸味があり、刺激性の成分が入っています。

有効成分には、キノリジニアルカロイド類の scaulophylline, anagryne, baptifoline やアポフィニアルカロイド類の magnoflorine のほか、カウロフィリン, caulosaponin, resin などがあります。カウロフィリンは、その血圧上昇作用や消化管や呼吸器系へ

の作用が、ややニコチンに近い性質をもっています。またこの成分は、多量摂取で心筋に対して毒性があることが知られています。この成分は N-methylcytisine とも言われ、この植物の他のものにも、マメ科の植物の一部にも存在しています。レメディになる植物の中では、Baptisia tinctoria や Cytisus laburnum などに微量存在します。

メディカルハーブとしての効用は、月経促進作用、分娩促進作用、発汗作用、利尿作用、駆虫作用、抗神経痛作用、鎮痙作用、去痰作用などがあります。もともと、アメリカ先住民が女性の薬として、また子供の疝痛に使っていました。先住民の女性は、出産の2, 3週間前になると、この植物の根を煎じて飲みます。そのためこの植物のあだ名は、「squaw root」(アメリカ先住民女性のための根)とか「Papoose root」(赤ちゃんの根)と言われてきました。

適用として、子宮筋層炎、子宮内膜炎、尿道炎、卵巣炎、月経困難症、更年期障害、膣炎、妊娠中の諸問題や健康維持、分娩による衰弱、月経遅延、無月経、出産時の苦痛の軽減、全身の浮腫、ヒステリー、疝痛、喘息発作、神経痛、リウマチなどに使われてきました。

MATERIAL

レメディの原料になるこの植物の根と根茎は、成長期の終わりに当たる秋に収穫され、この次期がもっとも有効成分含有量がピークになります。

FIRST PROVING

E.M.Hale

AFFINITY

Caulophyllum は、主に子宮、神経、筋肉、手足の小関節に親和性があります。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、主に出産関連でよく使用されるレメディです。

■子宮, 出産

- ・難産 (効果を出しやすくするために、低いポテンシーを頻回に与えてください)
- ・子宮頸管部の硬縮により出産が重い場合 (Belladonna, Gelsemium sempervirens, Veratrum viride)
- ・陣痛が弱くて不規則な場合: あまりの痛みと難産で

疲れてしまっていることがあります。

- ・ 出産前に体調を整えるために
- ・ 出産後の胎盤収縮不全
- ・ 妊娠最初の3か月（第1期）までの流産，習慣性流産
- ・ 偽分娩痛
- ・ 月経困難症
- ・ 不妊症
- ・ 膣炎

■ 小関節

- ・ 手足の指の関節炎（とくに指のみに関節炎がある場合）：Causticumは、より全般的です。関節炎が、生理前に悪化することがあります。強く不安定な痛みと硬化があります。手を握ると指の関節に切るような痛みが走ることがあります。
- ・ 手首の痛み：痛みは一定せずに、数分ごとに場所が変わることがあります。



(K)

RELATIONS

- ・ Incompatible : Coffea

Causticum 水酸化カリウム [ボランティア活動]

Mixed of calcium hydroxide and potassium bisulfate

BACK GROUND

Causticumは、ハーネマンが独自に調合した化合物で、消石灰と硫酸水素カリウムの混合物です。この混合物は、ホメオパシー以外では使われていません。

Causticumは、ポリクレストレメディの1つで、多くの組織に影響を与えますが、主に、中枢神経ならびに末梢神経系、骨関節組織、皮膚に強く作用します。

一般的な症状として、粘膜のヒリヒリした痛み、粘膜や皮膚の焼けるような感覚、筋肉や関節に起こる発作性の激しい痛み、肉体的・精神的な衰弱などが特徴です。

FIRST PROVING

ハーネマン

MIND

Causticumタイプはやせ衰えていて、顔色も悪いです。体の筋肉は麻痺しやすい状態になっていて、痙攣やこわばりがみられます。寒がりです。寒くて乾燥した気候で体調をくずしやすくなります。

神経質で、動揺したり、深刻になりやすい傾向があ

ります。非常に真面目で、精神的なストレスがかかると、その影響を引きずり、精神的に弱ったり、心ここにあらずの状態になったりします。また、他人に対して非常に同情的で、悲しいニュースを見て涙を流してしまうことがあります。また、強い正義感をもっており、苦しみや不正を見ると見過ごすことができません。社会的な不正に立ち向かい、ボランティアや政治的な行動に、過度に力を注ぐケースも見られます。

精神的に疲れていて、物事を忘れっぽく、またそれにとらわれてしまうことがあり、鍵のかけ忘れや火の元の確認などを何度も繰り返しチェックしてしまいます。何か悪いことでも起きるのではないかと杞憂してしまいます。

せっかちな面もあり、仕事を急いでやったり、食事を急いで食べる傾向があります。塩味の強い食べ物や燻製肉やベーコン、チーズ、卵などを好みます。甘い物は嫌いです。水は好みませんが、冷たい飲み物は欲しがります。

Causticumの子供は、繊細で、感情的になりやすい性質です。ちょっとしたことで動揺してしまうことがあります。苦しんでいる人に対して、非常に同情的